

## 特別展 北斎サムライ画伝

すみだ北斎美術館 23. 12. 14～24. 02. 25 前後期で展示替えあり



「サムライ」は、江戸時代に生きた「北斎」にとって身近な存在であった。本展では、「源頼朝」や「徳川家康」などの名の知れた「サムライ」だけでなく、「北斎」と門人たちの目に映った江戸市中に暮らす太平の世の「サムライ」を描いた作品も展示されている。また、実際にあった「戦いや物語の中の戦う場面を描いた作品」も展示され、人々が抱いていた「サムライ」のイメージに触れると共に、「北斎」らによるサムライの姿を堪能することができる。

さらに、刀や鎧（やり）といった戦いの道具を取り上げた作品も紹介され、刀剣博物館所蔵の『刀 銘、津田越前守助作』も展覧されているので、刀剣の実物と描かれた刀剣を見比べて、「北斎」の表現力を楽しむことができる。

<本展の見どころ>

### 1. 北斎の描く名うてのサムライたち

江戸時代の人々がかつてのサムライに抱いていたイメージを紹介している。

### 2. 北斎と生きた平和の世のサムライたち

葛飾北斎《富岳三十六景 隅田川関屋の里》 早駆けのサムライ 左

葛飾北斎《富嶽三十六景 従千住花街眺望ノ不二》 参勤交代のサムライ右



### 3. 北斎の波と刃文の波の共演！

北斎の《神奈川冲浪裏》と《「刀」銘 津田越前守助》を並べて展示。